



丹波立杭焼の文献

島田, 清

(Citation)

兵庫地理, 3:34-37

(Issue Date)

1954-12

(Resource Type)

journal article

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90002204>



丹波立杭焼の文献

島田 清

丹波は、昔から窯業の盛なところであるが、中世以降、丹波焼が起り、日本七古窯の一つとして、今に人々の注意を惹いている。

この頃の丹波焼は、多紀郡の小野原・上立杭・下立杭・釜屋・氷上郡の村森・稲畑・大路・黒井・牛河内等、数ヶ所に分れ、日用雑器を焼いていたようであるが、現在では殆ど廃滅し、僅かに立杭焼にダークが残っているに過ぎぬ。これには、いろいろな理由があったと考えられるが、どうしてこのようになったのか、或はどんな製品が残っているだろうか、窯の構造は？製造の過程は？或は製作者の組織、経営の方法は？等、幾多の研究問題が横わっている。たまたま、文化財保護委員会に於て、「立杭窯」を無形文化財に選定し、昭和二十八年度の事業として、その記録を作製することとなった。又これと併せて、京都大学の人文科学研究所でも、社会・経済的な立場から、この窯業の実態を調査することとなった。そのため、十二月十三日より十五日まで、両者の合同調査が行われ、翌年一月十一日より十三日に亘つてもオニ陶の合同調査が行われることになっている。私は、これら兩調査のほか、更に十二月二十二日より二十三日にかけて、N・H・Kの亀井プロデューサー、鈴木徳彦アナウンサー、松村保三郎技術員と共に同地を訪れ、立杭窯業試験場の横清政太郎場長、丹波陶器協同組合の大西平八郎理事長、市野利雄副理事長、清水寅市理事をまじえて、現地録音を行った。（この放送は、二十六日午前八時十五分より三十分までのN・H・Kオニ放送に於て、「近畿雑記帳」という題のもとに行われた。）

こうして立杭窯ならびにその製品に対する関心と興味は急速に高められ、その実態に対する調査が各種の立場から行われるようになったが、日本の窯業を検討し、その事業を推進する上から言つて、又、日本の社会・経済事情を明瞭にする上から言つて、更に、文化財の保存と活用を図る上から言つて、このことは大変意義あることと考えられる。しかしながら、これには、順序として、過去に於ける立杭焼研究の経過を明らかにして置く必要がある。長い歴史を有している丹波立杭焼に対しては、深い関心を払つて来た人も随分あるし、断片的ながら書かれた文献も少なくない。又、單行本として出されたものもいくらかある。しかし、それらは、まだまだ十分にまとめられておらず、研究を大成するには程遠い感を感じ得ない。今回こうした研究が行われるのを機縁に、出来ればそうした方面へも一歩を踏み出したいと思つてゐるが、それには先ず、過去の文献と研究業績に目を通し、これを整理しておかねばならぬ。本稿は、そうした意味から作製されたものであつて、立杭焼に関する文献をできる限り収集し、これを表示したものである。乏しい私が、短期間のうちに行つたこの一覽表が、脱稿の多いものであろうことは、当然、予測されることであるが、オニ、オニと訂補を加えて、次オニに完全なものに仕上げたいと考えているので、先輩諸賢の方にも、そうした意味から、御気付のことを御指示いただければ幸甚である。

二

立杭焼に関して記述した文獻を掲げるに當って、私は、大きく四つに大別してみた。一つは、地誌乃至は史書の類、一つは陶器ならびに茶道に關する書物、それから、案業に關するもので、従来、書かれたものは、大体、この三つに分けられるのではないかと思う。しかし、人向の仕事は、そう機械的に分化してばかり行われないので、時には、どれにも關係あるもの、どれにもはつきり所屬さど難いものもある。そういうものは、別に「總記」の節をつくり、そこへ入れて置いた。しかし、こうした分類は、便宜附なものであるから、いさほい、その所屬について當を得ないと考えられるものがあるかも知れない。それらに、後日の訂補を俟ちたいと思う。

一、總記

1. 古事類苑

2. 大百科事典	27冊	平凡社	昭和7-9年
----------	-----	-----	--------

二、史誌関係

1. 大日本地名辞書(元版)	5冊	吉田東伍	明治33年
2. 大日本地名辞書(新版)	7冊	同	昭和12-15年
3. 大日本地誌(近畿篇)	1冊	佐藤・山崎	明治38年
4. 日本案内記(同)	2冊	博文館	
5. 日本地理大系	17冊	改造社	昭和4-6年
6. 日本地理風俗大系	19冊	新光社	〃4-7年
7. 兵庫県郷土地理	1冊	姫路師範学校	〃7年
8. 兵庫県産業風土記	1冊	兵庫県実業協会	〃11年
9. 兵庫県社会科学読本	1冊	兵庫地理学協会	〃24年
10. 私達の郷土、兵庫県	1冊	兵庫県師範学校	〃〃
11. 兵庫県郷土誌大系	1冊	稻見悦治	〃25年
12. 兵庫県郷土クラブ	4冊	比尾録之助	〃25-26年
13. お国自慢	1冊	兵庫県町村会	〃27年
14. 雄県兵庫	1冊	神戸新聞社	〃28年
15. 篠山町郷志	1冊	松崎南谷	正徳4年
16. 丹波志	37冊	古川茂正	寛政6年
17. 丹波考	1冊	小笠原利義	天保9年
18. 史料通信叢誌(丹波)	1冊	近藤瓶城	明治26年
19. 丹波叢話	1冊	栗林貞清	〃30年
20. 郷土史料	3冊	山口加米之助	〃33年
21. 多紀郡地誌	1冊	多紀郡教育会	〃44年
22. 多紀郡誌	1冊	〃	大正7年
23. 多紀郡土史誌	1冊	福原会下山人	昭和9年
24. 丹波史年表	1冊	松井善室	〃12年

25. 今田郷土史 1冊 館中精選 昭和28年(未定稿)

三、陶器、茶道 関係

I 単行本

- | | | | |
|----------------|-----|---------|----------|
| 1. 大正名器鑑 | 10冊 | 高橋義雄 | 大正12年 |
| 2. 大日本骨董全書 | 1冊 | 玉椿社 | |
| 3. 増補日本書画骨董大辞典 | 1冊 | 池田富太郎 | |
| 4. 陶磁器考 | 1冊 | 上田独笑 | 昭和7年 |
| 5. 本朝陶器攷証 | 6冊 | 金森得水 | |
| 6. 陶器全集 | 30冊 | 小野賢一郎 | |
| 7. 陶器大辞典 | 6冊 | 全 | |
| 8. 陶器講座 | 26冊 | 雄山閣 | 昭和10-12年 |
| 9. 陶器図録 | 12冊 | 全 | 〃 13年 |
| 10. 日本名陶選 | 3冊 | 陽本泉之軒 | |
| 11. 現代日本の民芸 | 1冊 | 式場隆三郎 | |
| 12. 日本陶器全書 | 1冊 | 大西林五郎 | 昭和15年 |
| 13. 日本古陶銘釈集 | 6冊 | 陶器全集刊行会 | 〃 16年 |
| 14. 丹波焼と仁清 | 1冊 | 福中又次 | 〃 17年 |
| 15. 茶道具 | 2冊 | 高原慶三 | 〃 22年 |
| 16. 茶鑑抄 | 10冊 | 加藤義一郎 | 〃 〃 |
| 17. 郷土芸術名作展解説 | 1冊 | 白鶴美術館 | 〃 25年 |
| 18. 丹波焼に就いて | 1冊 | 横溝致太郎 | 〃 26年 |

II 雑誌

- | | | | |
|-------------------|-------|--------------|-------|
| 1. 丹波の古窯に就て(上・下) | 杉本捷雄 | 「茶わん」80-1号 | 昭和12年 |
| 2. 丹波焼の発端 | 井上百次郎 | 全 80号 | 〃 〃 |
| 3. 続丹波の古窯に就て | 杉本捷雄 | 「茶わん」91号 | 〃 13年 |
| 4. 古丹波の会 | 柳宗悦 | 「工芸」89号 | 〃 〃 |
| 5. 丹波山の発色 | 井上百次郎 | 全 | 〃 〃 |
| 6. 挿絵小柱 | 柳宗悦 | 全 | 〃 〃 |
| 7. 丹波の茶陶について(上・下) | 杉本捷雄 | 「焼もの趣味」51-2冊 | 〃 14年 |
| 8. 朝倉山歌のことども | 全 | 「茶わん」100号 | 〃 〃 |
| 9. またまた朝倉山歌 | 大村正夫 | 全 101号 | 〃 〃 |
| 10. 蓮水談義 | 佐々木三味 | 「茶わん」105号 | 〃 〃 |
| 11. 小野原焼余談 | 杉本捷雄 | 全 | 〃 〃 |
| 12. 丹波焼のこと | 守田種夫 | 「丹波民芸」1号 | 〃 〃 |
| 13. 私の観た丹波焼(1・2) | 菅原牛歩 | 全 1-2号 | 〃 〃 |
| 14. 丹波焼研究 (1・2) | 守田種夫 | 全 2-3号 | 〃 〃 |
| 15. 丹波焼の再検討 | 松井寺庵 | 全 2号 | 〃 〃 |

- | | | | |
|---------------|-------|-------------|-------|
| 16. 釜屋古窯趾めぐり | 眠 史 生 | 「丹波民芸」2号 | 昭和14年 |
| 17. 他窯にゆれ易い丹波 | 杉本捷雄 | 「茶わん」117号 | 〃 15年 |
| 18. 丹波の徳和 | 全 | 全 123号 | 〃 16年 |
| 19. 西曾部焼異考 | 保田憲三 | 「古美術」13の5 | 〃 18年 |
| 20. 近畿の民芸を語る | 中村直勝等 | 「日本美術工芸」39号 | 〃 21年 |
| 21. 仁濟の茶碗 | 與田貞一 | 全 61号 | 〃 23年 |

四. 窯 業 関 係

1. 日本近世窯業史

2. 立 杭 焼

兵庫県工業試験場技術報告 15号

3. 立杭紀行

田中栄治郎 「丹波民芸」1号

昭和14年

4. 立杭の窯業

高尾・横山 「産業経済研究」4の3

〃 26年

5. 立杭について(リーチ来丹記念) 朽木司郎

〃 28年

以 上